

ふいじこく ほうかいち
V字谷・崩壊地

川の上流部には侵食作用を受けた地形として
V字谷と崩壊地があります

【V字谷】(☞ 本編の解説 3-3 U字谷参照)

源流部から流れ出した水は川となって谷をつくり、同様に周囲の水を集めて徐々に川の底を削り、長い年月をかけて深い谷をつくっていきます。写真1-2のように、削られた谷の形がアルファベットのVの字に似ていることからV字谷と呼ばれています。



写真1-2 黒部川上流祖父谷のV字谷
(国土交通省黒部河川事務所の写真を編集)

【崩壊地】

上流部の急な斜面には写真1-3のような崩壊地を見ることができます。山崩れや地すべりなどとも呼ばれ、山の斜面をつくる地層や岩石が、大雨による地盤のゆるみや地震による破壊により崩落してできたものです。崩落した土砂は時として大量の雨水とともに土石流となってV字谷を流れ下り、中流部や下流部に大きな被害をもたらします。



写真1-3 黒部川上流坊主山付近の崩壊地
(国土交通省黒部河川事務所の写真を編集)